

練馬区地球温暖化対策地域協議会の活動報告

平成22年度 練馬区環境・リサイクルフェア参加

“地域からはじめよう！ わたしたちができること”



2010年10月17日「平成22年度 練馬区環境・リサイクルフェア」が開催されました。

私たち、練馬区地球温暖化対策地域協議会は、今年5月25日に設立したばかりの団体で、多くの区民が来場されるこの環境イベントへの出展、参加は、地域での活動デビューとなるものでした。

設立以来準備をすすめ、このたび約1,400名にのぼるブース参加者を得て無事終了できましたのも、地域協議会の会員のみならず、事務局の財団法人練馬区都市整備公社のみならず、区の担当者、東京都の太陽エネルギー見本市関係者さま、一緒にミニステージを務めたこどもエコクラブの元気なエコ・キッズ達、ほか・・・この企画運営に関わったすべてのみなさまのご尽力の賜物と心より御礼申し上げます。

また本ブースにお立ちよりいただきました区民のみならずにも、この報告書を持ちまして感謝の意をお伝えさせていただきます。ありがとうございました。

(イベント部会長 沼田 美穂)

練馬区環境・リサイクルフェア 開催概要

♪日時:2010(平成22)年10月17日(日) 10:00～15:30

♪場所:練馬区立南町小学校 校庭

♪主催:練馬区環境・リサイクルフェア実行委員会
練馬区

♪テーマ:“いのちと地球の未来を ねりまから考える 2010”

♪延べ来場者:約3万人



♪出展団体 (26 団体):練馬区清掃リサイクル事業 / 練馬関町リサイクルセンター活動機構 / 練馬区地球温暖化対策地域協議会 / すずしろ環境開発事業協同組合・すずしろ環境開発異業種交流会 / 株式会社 大三洋行 / 環境まちづくり NPO エコメッセ 練馬 / ねりまおもちゃクラブ / アゴラ造園 株式会社 / 社団法人 東京環境保全協会 / 練馬区リサイクル事業協同組合 / 東京都下水道局西部第二下水道事務所 / 東京二十三区清掃一部事務組合 光が丘清掃工場 / 東京都立練馬工業高等学校 / 練馬区立豊玉リサイクルセンター / ねりまエコ・アドバイザー 葉っぱの会 / 練馬石神井川かるがも友の会 / ねりまエコ・アドバイザー協議会「ねりま生きもの調査プロジェクト」 / おもしろ学習道場 / 練馬区みどり推進課 / 市民提案の循環型社会をめざす会 / 練馬区民環境行動連絡会 / ねりまエコ・ネット / ねりま・みどりと花の会 / 練馬環境学習交流機構 / 社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会・環境委員会 / 練馬区環境課

会場の様子



スタッフ・地球温暖化 パネル展示&クイズラリー

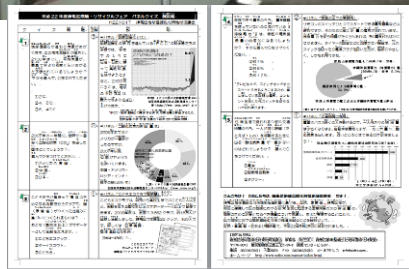
来場者に、広く「地球温暖化現象の現状とその対策」をご説明するパネル展示を行い、またその中のぜひ覚えていただきたいポイントを回答とした、クイズラリーを行い、チャレンジしていただきました。

♪展示パネル 13枚

1	地球温暖化とは
2	二酸化炭素の排出量は
3	練馬区の特徴は
4	温暖化の影響は
5	こどもエコクラブ壁新聞
6	エナジーキッズクラブ富士見台 その1
7	エナジーキッズクラブ富士見台 その2
8	家庭での取り組み その1
9	家庭での取り組み その2
10	家庭での取り組み その3
11	家庭の中での実践例
12	交通機関の利用
13	エコドライブ
13	練馬区地球温暖化対策地域協議会とは



展示パネルの様子



終了者には会員提供の記念品とともに、左のクイズの回答解説書(両面)、地域協議会のご案内チラシ、省エネ等に関するリーフレット等を配布しました。

♪クイズ問題 5問

- 地球温暖化が進むと気温が上がります。このまま温暖化が進むと、2100 年ごろには、平均の気温が、最高で今より何度くらい上がると予想されているでしょうか ① 2℃ ② 4. 5℃ ③ 6. 4℃
- 2007 年の一年間に、世界で一番多く二酸化炭素(CO2)を出した国はどこでしょうか ① アメリカ合衆国 ② 中国 ③ 日本
- こどもたちが集まって環境のためになる活動を行うクラブで、国(環境省)がつくった仕組みに基づいてつくられるものは? ① こどもエコクラブ ② ボーイスカウト ③ こども会
- 家庭で使う電気のうち、電気器具を使っていないのに流れている『待機電力』は、家庭の電気使用量の約何%になるでしょうか ① 約1% ② 約6% ③ 約12%
- 日常生活で使われるつぎの交通機関のうち、一人が同じ距離(たとえば1km)を移動するときに出る二酸化炭素量が一番少ないのはどれでしょうか ① 電車 ② 自家用自動車 ③ タクシー (☞回答はページ下)

設立間もない上に「練馬区地球温暖化対策地域協議会」という固い名称のブースに、はたしてどのくらいの方が参加していただけるのか?という事前の心配は杞憂に終わり、10 時の開場から、閉会の 15 時半直前に協議会会員が持ち寄ったささやかな記念品が終了するまで、ほとんどブース内はすし詰め状態で、クイズラリーにご参加いただいた方は、1391 名にものぼりました。(これは、1時間 約 253 人のペースになります)

またクイズラリーに参加された方の中には、クイズの答えだけでなく、例えば「待機電力」についての回答であれば「どの機器に多くかかるのですか?」「削減する方法はありますか?」等、活発な質問、ご意見も飛び出し、スタッフはパネル内容に関する解説と行列となったブース内の整理に 1 日中追われました。

事後のスタッフアンケートによれば、あまりの混雑ぶりに途中でひき返す方もいらしたようで、ブースのスペースとお伝えしたい内容の情報量、動線の確保等については、今後の課題とさせていただきたいと思っております。

改めて、多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。



協議会ブースの様子

ミニ・ステージでの発表

今年から設けられた会場のミニ・ステージ上においては、一人でも多くの方に、まずは地球温暖化の防止のために、区民・事業者・区等が集まり「練馬区地球温暖化対策地域協議会」を設立したことをお伝えしたいということと、区内で地道な環境活動をしている環境省のこどもエコクラブのこども達の活動をPRするための出し物を企画、上演しました。

環境省の「こどもエコクラブ」は、平成22年11月現在、全国で約3,140団体、およそ14万人以上のこどもたちがそれぞれの問題意識で環境活動を行っています。



練馬区内には現在22のクラブがあり、458名のメンバーが活動していますが、その中の当地域協議会会員でもある『エナジーキッズクラブ富士見台』と、区立豊玉リサイクルセンターでサポートしている『エコタマレンジャークラブ』の2つの団体のこども達に、まずは壁新聞を使ってそれぞれの活動紹介をしていただき、次にチームマイナス6%が作った「ストップ・ザ・温暖化たいそう」をみんなで踊って、来場者の方に向けて地球温暖化防止のためのエコアクションを訴えました。

エコまるくんも応援！

かわいいこどもたちの楽しい発表に、多くの来場者たちも立ち止まって笑顔で応援し、また地域の環境活動のコーディネーター役を担う協議会としても、地域で頑張っているこども達の活動支援を行うことができ、大変有意義な第一歩となりました。

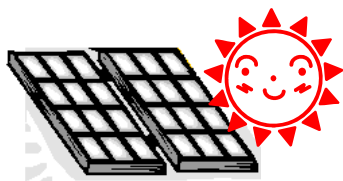


ケーブルテレビJ:COM東京の番組「ねりまほっとライン」でもミニ・ステージでの様子が放映されました。

太陽エネルギー見本市

東京都では、地球温暖化対策としての再生可能エネルギーの利用拡大を進めていくため、2016年までに100万kW相当の太陽エネルギーを導入することを目標に掲げ、その足がかりとして平成21年度及び平成22年度には、年間2万世帯への太陽エネルギー利用機器の設置を目指し、事業者等と連携して「太陽エネルギー利用拡大連携プロジェクト」を展開しています。

当協議会では、東京都と連携し、都が委託する太陽光エネルギー機器のメーカーや販売業者に出展いただいて、家庭や店舗等で使用できる太陽光エネルギー機器の展示や説明を行い、貴重な再生可能エネルギー利用の拡大に向けた情報提供にも取り組みました。



来場者アンケート



回収アンケートの概要

参加者総数	1,391	
アンケート回答者数	1,126	80.9%
各問回答者数	第 1 問	1,115 80.2%
	第 2 問	1,112 79.9%
	第 3 問	1,070 76.9%

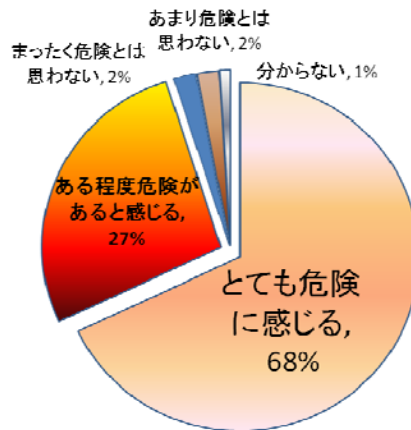
来場者にはクイズの回答と同時に「地球温暖化」に関するアンケート調査を 3 問実施し、クイズ参加者の約 8 割、1100 人を超える方から、貴重なご意見をお聞きすることができました。

あわただしいイベントの中、大変混雑したブース内で、当日アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。

アンケート結果のまとめ

第 1 問	地球温暖化に対してどのように感じていますか？	回答割合 %
A	とても危険に感じる	68%
B	ある程度危険があると感じる	27%
C	あまり危険とは思わない	2%
D	まったく危険とは思わない	2%
E	分からない	1%
合計		100%

1. 地球温暖化に対してどのように感じていますか？



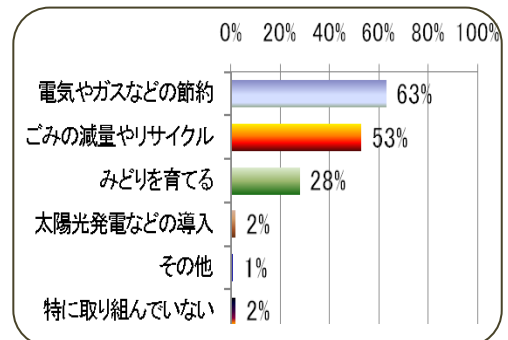
地球温暖化に「とても」と「ある程度」を合わせ「危険を感じる」と答えた人が 95%に上るということは、今回回答されたほとんどの方が日頃から温暖化についての知識・情報を持ち、かつ、その現状、進行に大きな危機感、不安を感じていることが推測されます。

第 2 問	地球温暖化を防ぐため、家庭で取り組んでいることがありますか？	回答割合 %
A	電気やガスなどの節約	63%
B	ごみの減量やリサイクル	53%
C	みどりを育てる	28%
D	太陽光発電などの導入	2%
E	その他	1%
F	特に取り組んでいない	2%

合計は 100%を超えます

2. 地球温暖化を防ぐため、家庭で取り組んでいることがありますか？

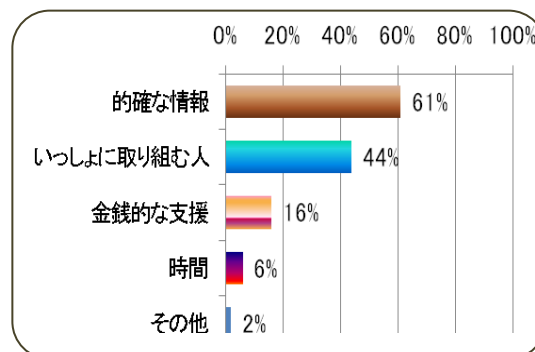
ほとんどのの方がご自身の家庭で「省エネ」や「ごみの減量・リサイクル」「緑化」等の具体的な温暖化防止活動をすでに行っていることがわかります。



3. 温暖化防止の取り組みには何が必要ですか？

第 3 問	温暖化防止の取り組みには何が必要ですか？	回答割合 %
A	的確な情報	61%
B	いっしょに取り組む人	44%
C	資金的な支援	16%
D	時間	6%
E	その他	2%

合計は 100%を超えます



温暖化への危機意識を持ち、日々自分ができることを実践しているが、多くの方は、さらに「温暖化に関する的確な情報」や「いっしょに

取り組む仲間」を探しています。

「情報が必要」という点では、環境問題、温暖化が連日のようにテレビや新聞で報道され、また身近な地域でも話題にされるようになって、信頼すべき必要な情報が、それを欲する人の元になかなか届いていないミスマッチの存在が推測されます。また地球規模で進行している温暖化の問題は、個々の行動だけで解決するものではなく、多くの人が「いっしょに取組む人」・・・意識を共有化してともに行動を広げていくことを求めていることも分かりました。

私たち練馬区地球温暖化対策地域協議会は、そうした地域の方々に確かで細やかな環境情報を伝え、人の行動の環をつないでいくことを目的として設立されました。改めて今回のイベント参加で得たこと、アンケートの結果を今後の更なる活動に活かしていきたいと思っております。みなさまのご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。